

優秀賞

目にみえないしょうがい

香川県 琴平小学校 一年

藤岡 奏美

わたしには、「せんてんせいせきついそくわんしょう」という、せぼねのびょうきがあります。

生まれてしばらくして、おかあさんがおふろにいてくれているときに、せなかにこぶのようなものがあることにきづいて、びょういんの先生にそうだんしてわかったそうです。立つことも、あ
るくこともできないかもしれない、といわれたそうですが、いまあるくこともできるし、みんなと
いっしょにふつうに学校にもいけています。

みんなとすこしちがうことは、せぼねをまっすぐにするためのそうぐをつけてせいかつをしない
といけないことです。

はじめてそうぐをつけたのは、ねんちょうさんで、ていきけんしんのときに先生から、

「せいちょうきで、せが大きくなったね。でも、ほねさんが大きくなるのにちょっとついていけ
なくて、まがっているのがひどくなっちゃったから、まっすぐにするそうぐをつけようね。」

と、わたしにもわかるようにはなしをしてくれて、そうぐをつけるようになりました。そうぐはむ
ねからおしりまでをこていしていて、ふゆでもあせもができるくらいあついし、かたくてうごきに
くいし、いやです。

でも、そんなわたしにクラスみんなはやさしくしてくれます。そうぐをつけてすぐは、トイレ
にいてパンツをはくのもたいへんでした。こまっているとき、それにきづいたおともだちが、先
生をよんできてくれたり、みんなでそとへあそびにいくとき、くつをはきにくそうにしていたら
つだってくれたりしました。

そうぐせいかつにも、小学校せいかつにもなれてきたいまは、たいいくのじゅぎょうであつくて
かゆくなったときに、じぶんでそうぐをのけるようになったけれど、まだじぶんでそうぐをつけ
ることはできません。

そんなときに、おともだちがとどかないところをつけてくれたり、ランドセルをせおうときに
つだってくれたり、子どもえんのときとはちがったおてつだいをしてくれます。

そうぐはふくの下につけているので、よくみないとふつうの小学生とかわりなく、きづかれませ
ん。だから、ヘルプマークをもっています。それでも、おかあさんやおねえちゃんについてきてもら
って、たもくてきトイレをつかっているときに、知らない人に、「そこをつかうな。」とおこられたこ
とがあります。おかあさんやおねえちゃんがかばってくれたけれど、とてもこわかったです。

みたくでわからないしょうがいにも、みんながやさしいきもちでたすけあっていけるようになれ
ばいいのに、わたしのおともだちみたいな人がふえればいいのになあ、とおもいました。